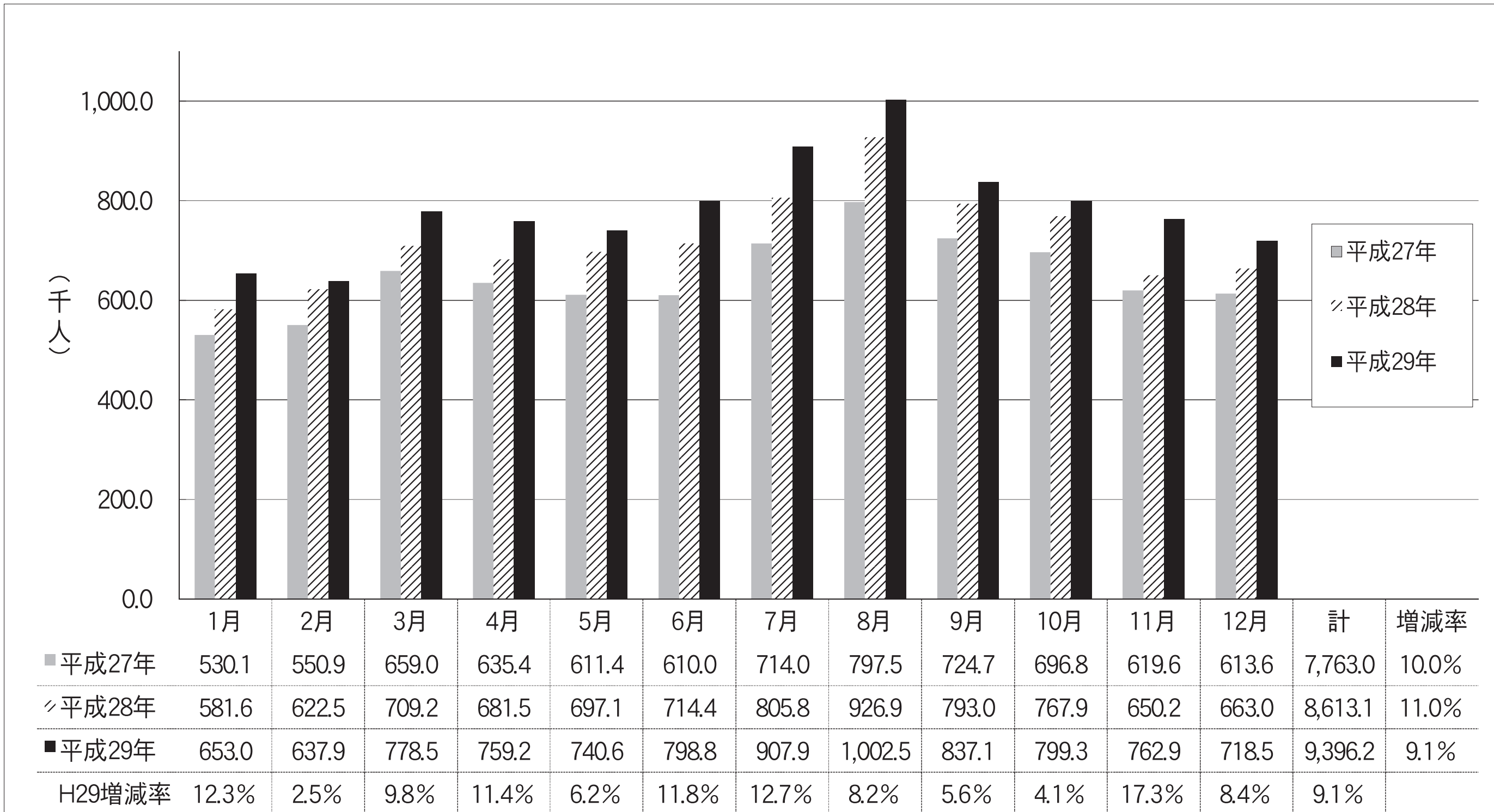


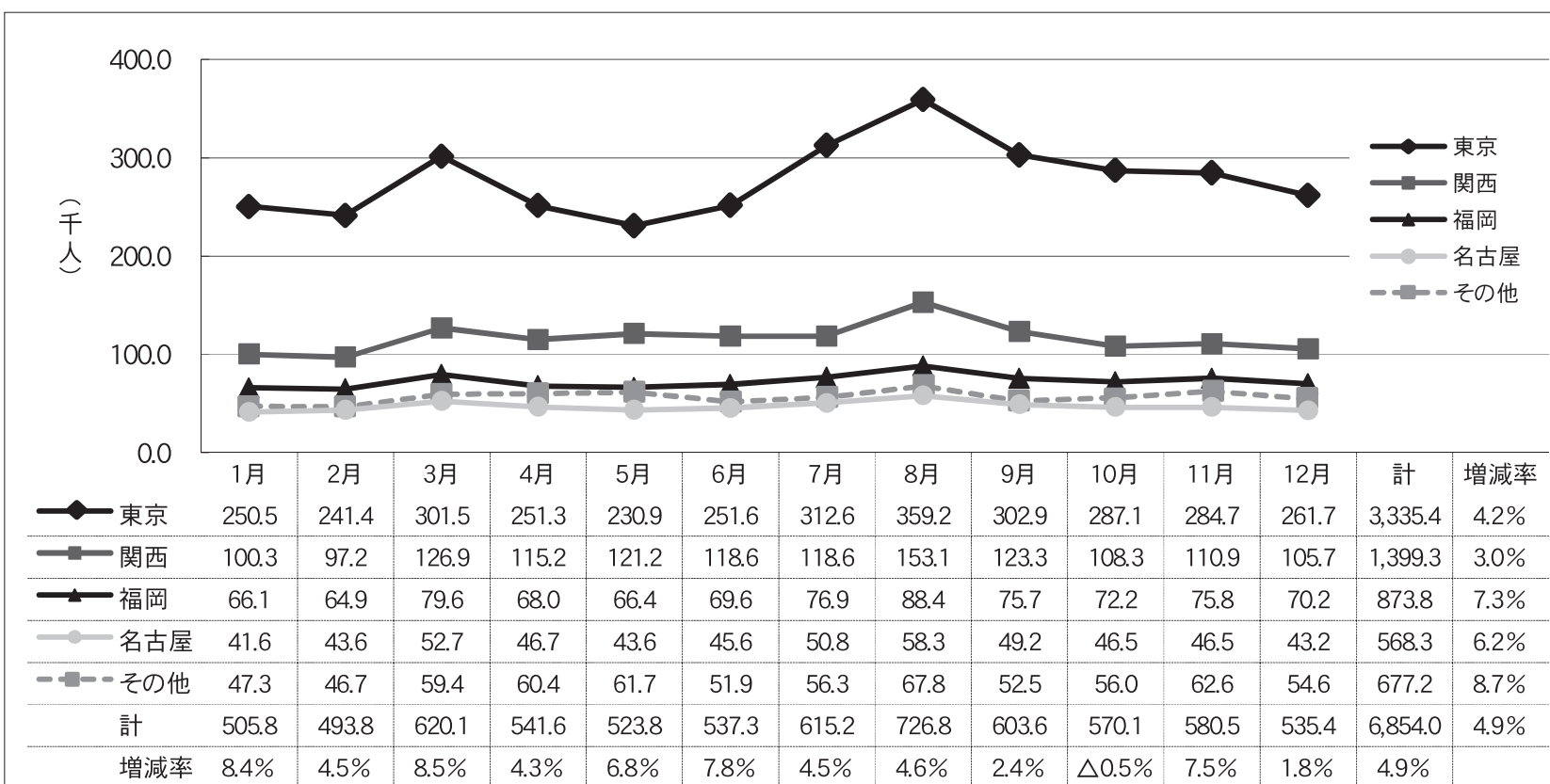
平成29年(暦年)沖縄県入域観光客

939万6200人、過去最高に

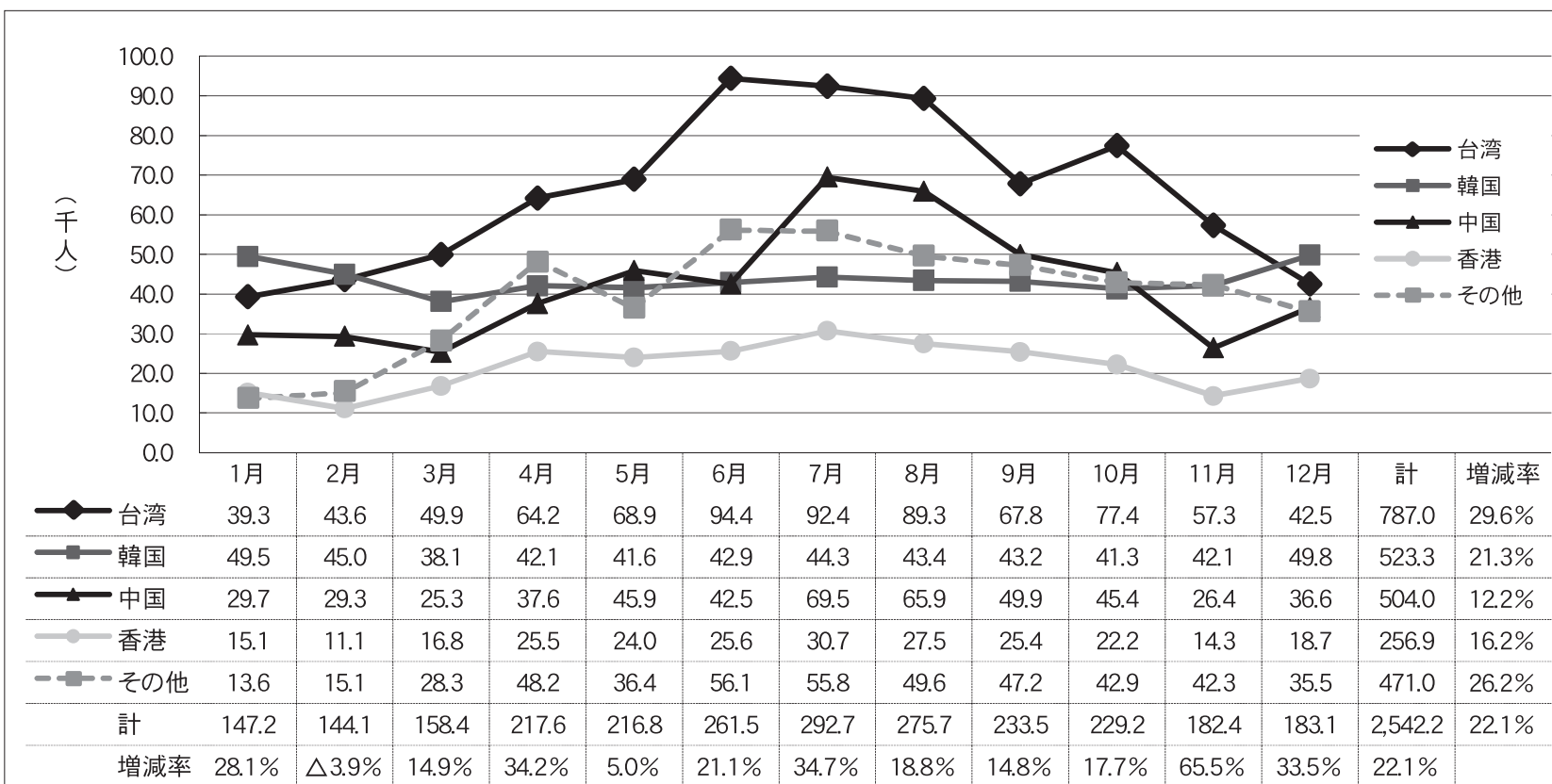
■月別入域観光客数の推移(平成27年～平成29年)



■平成29年(暦年)国内観光客の状況(方面別の月別推移)



■平成29年(暦年)外国人観光客の状況(方面別の月別推移)



沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課発表した「平成29年(暦年)沖縄県入域観光客統計概況」によると、同県の昨年1年間の観光客数は939万6200人で、過去最高となった。前年比で78万3000人、率にして9.1%の増加。初の900万人台を記録し、5年連続で過去最高を更新した。

増加の要因を県では「行政や民間が一体となったプロモーション活動により、沖縄の認知度向上や旅行意欲の喚起を図ったこと」「離島直行便など国内航空路線の拡充による国内客の増加」「東南アジア方面などの海外航空路線の拡充・クルーズ船寄港回数の増による外国客の増加」などが考えられるとしている。

月別では、1～12月の

前年比9.1%増 5年連続で過去最高更新

外国人観光客は22.1%増加

全月の前で前年を上回る。これまでの最高は平成28年(前年)の685万4千人。台風の影響があったものの、景気回復基調が続いて県では「景気が緩やかな回復基調にあること」が好調に推移した。名古屋や、各航空会社による航空路線拡充の動きがあること、国内観光地と、各離島への直行便の競合が想定されるものも好調だった。

◇ 国内旅行市場は好調に推移すると見られる。外国人客は過去最高の254万2200人で、前年比で46万1000人、率にして22.1%の増加があり、空路客の入り込み増加が期待されること、クルーズ船の寄港についても増加する予定となっていることなどが好調に推移するものに加え、沖縄発着航空路線の新規就航、既存路線の増便があり、空路客が増加した。

入域観光客数のうち、国内客は過去最高の685万4千人で、前年比で32万3千人、率にして4.9%の増加となった。月別では、1～12月の

調査データ